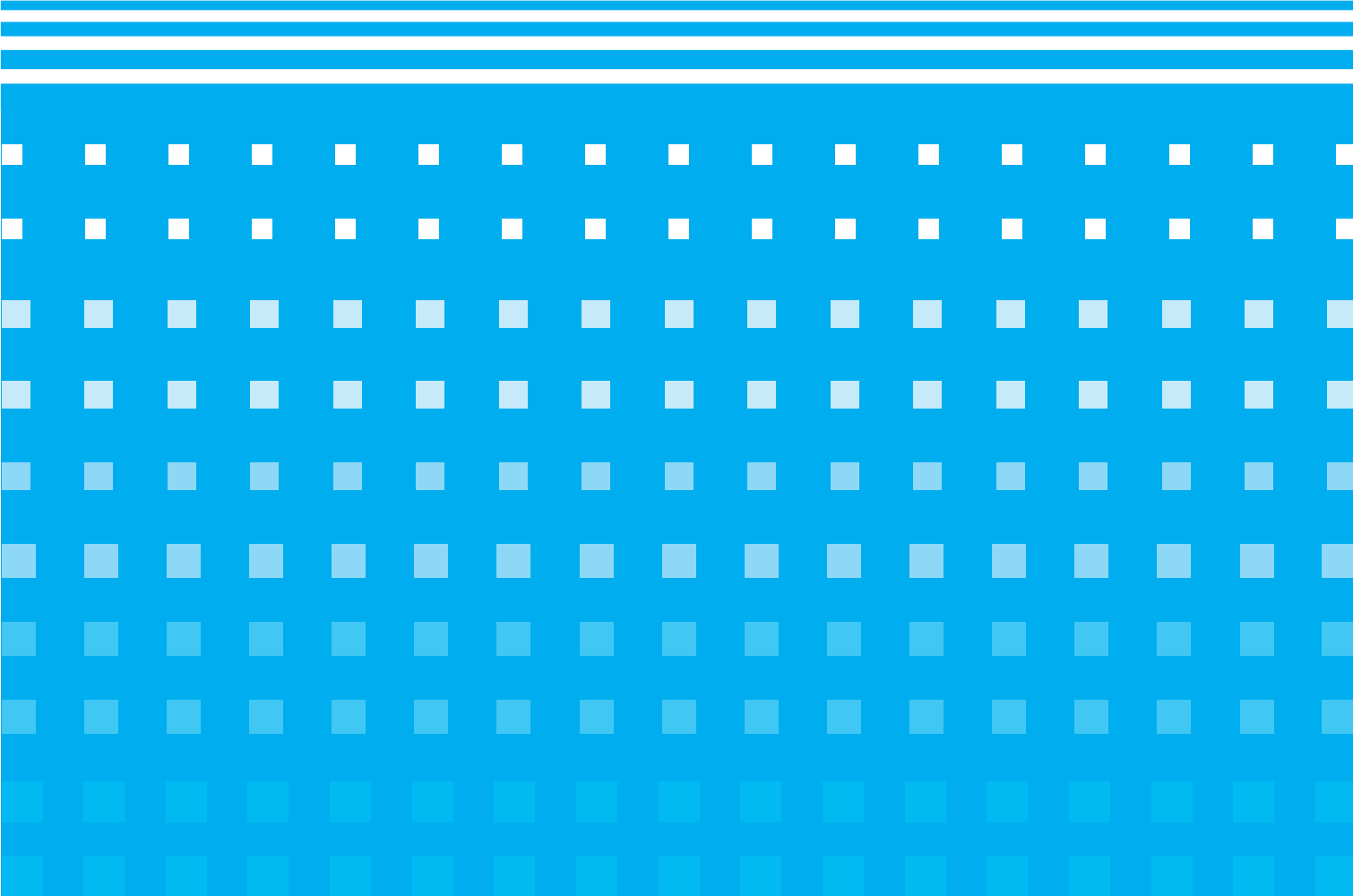


株 主 通 信

第10期 2008年9月1日から2009年8月31日まで



株主の皆様へ

株主・投資家の皆様には平素より格別のご支援ならびにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は「新しい価値を創造し、心のこもったサービスを通じて、社会に貢献する企業を目指す」という経営理念のもと、地盤の調査を行い、強度に問題がある地盤を補強し、確実な方法で地盤に保証を付けることにより、皆様に安心を提供してまいりました。

その様な中で、昨年秋頃に米国発のサブプライムローンに端を発した経済不況が我が国においても多大なる影響を及ぼしたことと思えます。

また、当業界におきましても、一昨年の改正建築基準法並びに本年10月より施行された「住宅瑕疵担保履行法」により、市場を取り巻く環境が劇的に変化しております。

しかしながら、この環境の変化は消費者保護を目的に、安心・安全、ひいては品質の確保が最優先課題であることから起こっております。その観点からも、建物にとって非常に重要な要素である地盤調査・補強のニーズは今後もさらに高まっていくものと確信しております。

我々は、時代の変化に対し柔軟に対応した商品開発を進めてまいりました。

その結果、地盤保証と地震補償をセットにした「THE LAND Plus」の販売開始と、信託を活用し、出来高払いにすることでビルダーに万が一の事態が発生した場合でも住宅の完成までを支援する住宅完成エスクローサービス「住まいるガード」の立ち上げに成功いたしました。

今後は、変貌する住宅業界の中で消費者の目線に立った付加価値の高い商品を積極的に開発・展開し事業成長・企業価値の向上に努めていく所存でございます。

引き続き、皆様のご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

サムシングホールディングス株式会社
代表取締役社長

前 俊守



プロフィール



グループのシナジーを原動力に、 新たな成長段階へ。

サムシング・グループは、
住宅価値創造事業グループを目指します

サムシング・グループは住宅地盤事業を中心に事業を展開し、ソリューションビジネス、ニュービジネスを展開することにより、新しい価値の創造・住宅価値創造事業グループを目指します。

■ サムシング・グループの基本方針 ■

サムシング・グループは設立以来、「マーケットイン」・「ニッチ」・「グロース」という3つのキーワードを念頭に置いて、経営戦略を立案しています。

企業側の論理で「良いモノ・サービス」を提供するプロダクトアウトの考え方ではなく、「顧客の望むモノ・サービス」を提供する「マーケットイン」の視点でお客様と取り引きしています。そして、市場（＝お客様）ありきの考えで、店舗展開、商品開発を行っています。

市場の選択にあたっては、「ニッチ」という要素を重視しています。それはサムシング・グループが、大手企業と同じ土俵に立って競争をするには、現状の体力では不十分であるという現実を認識しているからです。そこで、大手企業とのむやみな競争を避け、収益の確保を見込める市場に経営資源を集中していきます。

市場の選択条件としては、成熟市場ではなく、規模は必ずしも大きくなくとも新興の成長市場を志向しています。

■ 事業系統及びセグメント ■

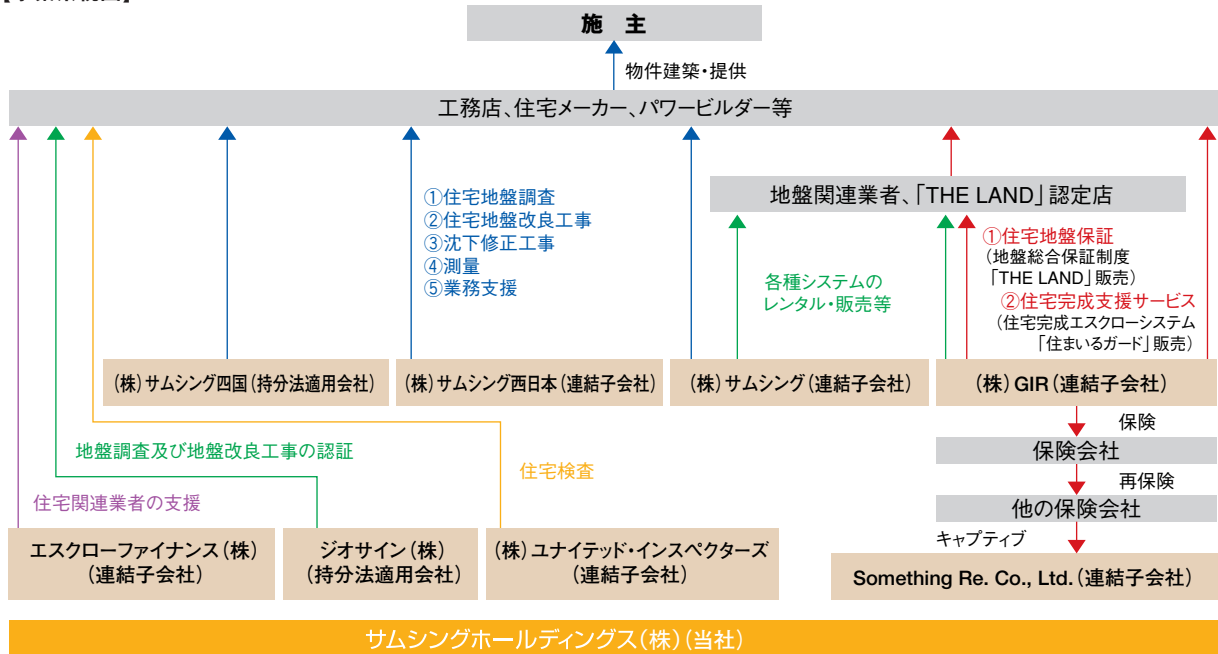
当社は、グループ各社の経営指導、グループ全体の事業統括及び新規事業開発等を行っております。また、グループ各社から、総務、人事、経理及び経営企画等の管理業務も受託しております。

事業の種類別セグメントは、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	主な事業の内容	主な会社名
地盤改良事業	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅地盤調査 ●住宅地盤改良工事 ●沈下修正工事 ●測量 ●地盤関連業者に対する業務支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)サムシング ●(株)サムシング西日本 ●(株)GIR ●(株)サムシング四国(※)
保証事業	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅地盤保証 ●住宅完成支援サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)GIR ●Something Re. Co., Ltd.
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ●各種システムのレンタル・販売等 ●電子認証サービス ●住宅検査関連業務 ●住宅関連業者支援 ●営業支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)GIR ●ジオサイン(株)(※) ●(株)ユナイテッド・インスペクターズ ●エスクローファイナンス(株) ●サムシングホールディングス(株)

(※)(株)サムシング四国、ジオサイン(株)は持分法適用会社であります。

【事業系統図】



- グループ各社の経営指導、グループ全体の事業統括及び新規事業開発 ●グループ会社からの総務、人事、経理及び経営企画等の管理業務の受託
- インターネット、コンサルティング等の中小企業支援

住宅分野で培った技術・ノウハウをベースに、グループのシナジーを極大化。 さらなる成長ステージへ飛躍していきます。

サムシング・グループは、株式会社サムシングの地盤改良事業をコアに、次々と新しいサービスを提供してまいりました。住宅・小規模店舗を中心に地盤調査を行い、強度に問題がある地盤を補強する「株式会社サムシング」「株式会社サムシング西日本（2009年9月株式会社サムシング東海より商号変更）」「株式会社サムシング四国（2009年10月共同設立）」。

そして、地盤調査・地盤改良工事現場におけるGPSデータ（位置情報）・タイムスタンプ（調査時刻）・地盤調査データ等をインターネットを活用し、リアルタイムで問題が無ければ「電子認証」を

行い、不正な入力や改竄を防止するシステムを扱う「ジオサイエンス株式会社」。また、地盤改良工事を第三者的な立場から審査し保証するサービスと、住宅完成エスクローサービスを提供する「株式会社GIR（2009年4月株式会社ジオ・インシュランス・リサーチより商号変更）」。

さらに、住宅完成保証に必要な住宅検査を行う「株式会社ユナイテッド・インスペクターズ」や、ビルダー向けファイナンスを行う「エスクローファイナンス株式会社」を設立するなど、今後もさらなる成長を目指し、新たなサービスを生み出し続けます。

■ サムシング・グループのサービス ■

敷地調査・地盤調査

地盤の強度（N値と呼ばれる値）を調査し、そのままの地盤でも建物が建設可能か否かを測定します。



地盤改良

地盤調査の結果、軟弱地盤と診断された土地に対し、建設する住宅の重みに耐えられるように、基礎下の地盤を補強します。



電子認証

地盤調査・地盤改良工事現場における不正な入力や改竄を防止します。



地盤保証

「THE LAND」
ハウスメーカー様や工務店様向けに、建物引渡してから10年間保証の地盤総合保証制度「THE LAND」を提供しています。



地盤総合保証制度「THE LAND」
地盤に起因する建物の不具合を保証

住宅関連業者支援

主に、サムシング・グループのサービスを利用される住宅事業者に対する事業資金の融資、経営に関するコンサルティング業務、住宅建材の売買を提供します。

住宅検査

2009年10月より義務化された「住宅瑕疵担保責任保険」の現場検査を主体に株式会社GIRが提供する「住まいるガード」の出来高検査を行います。



住宅完成エスクローサービス「住まいるガード」

建築工事の進捗管理を行い、出来高に応じて住宅事業者へ、予め施主様より信託口座にて、お預かりした建築費をお支払いすることで、住宅取得者の過払いや二重払いを未然に防止します。また、住宅事業者へ万が一の事態が発生しても、工事を継承し住宅の完成まで支援することが可能となります。

■ グループフォーメーション ■

■株式会社ユナイテッド・インスペクターズ(2008年11月設立)

住宅瑕疵担保責任保険の検査、住宅事業者及び住宅取得者向け住宅検査業務を行っています。

■株式会社GIR

(2009年4月商号変更)

損害保険会社と提携し、保証事業を行っており、地盤総合保証「THE LAND」及び住宅の完成までを支援する住宅完成エスクローサービス「住まいるガード」を提供しています。



Something Re.
Co., Ltd.
保証事業



United Inspectors
HOME INSPECTION FOR SAFETY & QUALITY
Established 2008 in Tokyo, Japan

その他の事業
(住宅検査関連業務)



SOME THING
GROUP

サムシングホールディングス
株式会社

サムシング・グループの純粋持株会社として、子会社の経営管理・企画・財務等の機能及び、新規事業のインキュベーターとしての役割を担っています。

■株式会社サムシング

サムシング・グループの中核企業であり、住宅及び小規模店舗を中心に地盤改良工事を主たる事業としており、地盤調査、測量調査、不同沈下が発生した家屋の沈下修正工事を行っています。

■株式会社サムシング西日本

(2009年9月商号変更)

西日本地区において、株式会社サムシングと同様の事業を行っています。

■株式会社サムシング四国

(2009年10月共同設立)

四国地区において、株式会社サムシングと同様の事業を行っています。



SOME THING

地盤改良事業

■Something Re. Co., Ltd.

キャプティブを行っており、「THE LAND」のビジネスモデルを支えています。



その他の事業
(住宅関連業者支援)



GeoSign

その他の事業
(電子認証サービス)

■ジオサイン株式会社

電子認証付地盤調査を実施するための住宅地盤第三者認証システム「G-Web system」を提供しています。このシステムを導入することで、不正や改竄を防止するタイムスタンプ付の地盤調査報告書を発行することができます。

TOPICS

■ 第10期 ■ (2008年9月1日～2009年8月31日)

●11月 (株)ユナイテッド・インスペクターズ設立

2009年10月から「住宅瑕疵担保履行法」により全ての新築住宅に関して瑕疵担保責任の資力確保のため、保証金の供託が保険の加入が義務付けられました。保険加入に際して住宅供給業者は、住宅建設中に国土交通大臣が指定する住宅瑕疵担保責任保険法人から有資格者による検査を受ける必要があるため、検査業務を受託します。

● 4月 地震補償付き地盤保証「THE LAND Plus」販売開始

● 7月 信託型住宅完成支援サービスの新商品

「住宅完成エスクローシステム(商品名:住まいるガード)」の発売を開始

■ 第11期 ■ (2009年9月1日～2010年8月31日)

● 9月 (株)サムシング東海から(株)サムシング西日本へ商号変更及び本社移転

● 9月 (株)サムシングから(株)サムシング西日本へ九州営業所を譲渡

● 9月 エスクローファイナンス(株)共同設立

●10月 (株)サムシング四国共同設立

1. 当期の概況

当連結会計年度の業績は売上高4,627,641千円（前期比0.1%減）とほぼ横ばいにとどまりましたが、材料費・燃料費等の変動費及び減価償却費・リース料等の固定費の圧縮が奏功し、売上総利益1,342,852千円（前期比12.8%）となりました。

役員報酬・従業員賞与のカットや家賃の削減等で販売費及び一般管理費を抑制し、営業利益59,235千円（前期59,143千円の営業損失）、経常利益40,205千円（前期78,713千円の経常損失）となりました。

しかしながら不動産事業からの完全撤退に伴い、子会社整理損失を96,045千円計上したため、当期純損失は10,342千円（前期149,648千円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(1) 地盤改良事業

地盤改良事業は、主に地盤改良工事と地盤調査・測量に分かれます。

地盤改良工事におきましては、量的な拡大を迫わず収益性改善を目的として個別採算を重視した営業活動を徹底しました。工法別では当社グループの主力である柱状改良工法に重点を置き、得意分野の集約化に努めました。新規に導入した独自工法であるNSVコラム工法の効果で、柱状改良工法は微増となりました。また鋼管杭打設工事・表層改良工事が減少する一方で、SMD工法が増加しました。

地盤調査・測量におきましては、ボーリング調査及び役所調査・測量が減少に転じたものの、スウェーデン式サウンディング試験が大幅に増加したため、売上高は堅調な伸びとなりました。

この結果、地盤改良事業の売上高は4,468,680千円（前期比1.9%増）となりました。

(2) 保証事業

平成21年10月の瑕疵担保責任保険導入を背景に加えて、競争上の優位性から地盤総合保証制度「THE LAND」が件数ベース大幅な伸びを示しました。しかしながら商品スキーム変更に伴い、グループ会社間取引における費用収益の連結相殺処理が発生し、売上高ベースでは減少しました。

この結果、保証事業の売上高は130,550千円（前期比39.5%減）となりました。

(3) 不動産事業

不動産子会社である株式会社サムシングリアルネットは、

平成21年1月6日に解散決議を行い、平成21年8月31日に清算が終了しております。

そのため、本連結会計年度につきましては、解散決議前に得た売上高1,000千円を計上するにとどまりました。

(4) その他の事業

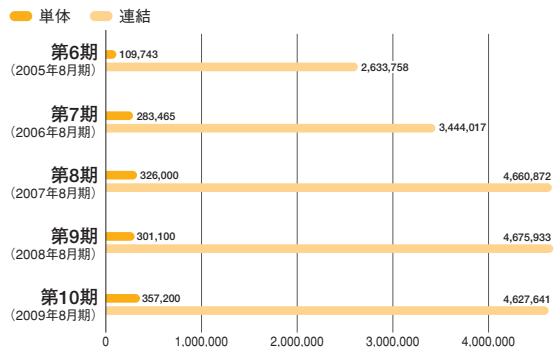
その他の事業におきましては、平成20年11月に設立した連結子会社・株式会社ユナイテッド・インスペクターズの住宅検査受託業務が貢献し、売上高は27,410千円（前期比119.3%増）となりました。

2. 次期の見通し

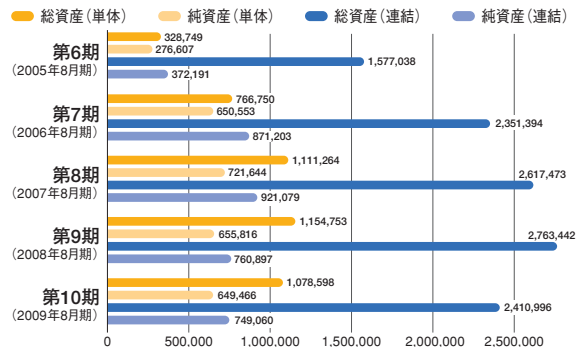
国内景気は最悪期を脱しつつあるものの、依然として下振れ懸念は払拭し難く、予断を許さない状況にあります。しかしながら、新設住宅着工件数の循環的な底打ちと民主党新政権の家計へ配慮した景気対策等の景況で、戸建住宅市場は落ち着きを取り戻すと予想しております。また平成21年10月から施行された住宅瑕疵担保責任履行法により、住宅の安全性に対する関心が一段と高まり、当社グループがコア事業とする地盤改良工事・地盤調査に対する需要も増加すると考えております。

- ① 地盤改良事業におきましては、付加価値の高い独自開発工法であるNSV工法を用いて設計事務所等に当社グループの技術力を訴求し、コンビニエンスストア等の小型商業用店舗や介護施設等の低層建物の受注を増加させます。また外注工事協力業者の一層の拡充と柔軟な工事受注価格の設定により顧客層の拡大と売上増を図ります。
- ② 保証事業におきましては、住宅瑕疵担保責任保険法人とのアライアンスを通じた新規顧客層の拡大を続けると共に、地盤改良事業とのシナジー効果を高めるために全国47都道府県に認定店ネットワークを構築していきます。また、地盤総合保証制度「THE LAND」では保証額を低く設定した新商品をラインアップに追加することで、新規のニーズを掘り起こしていく方針です。

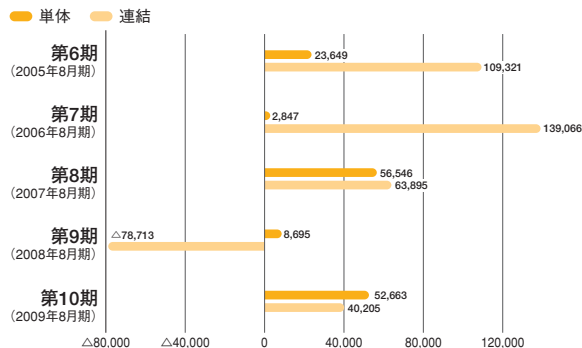
売上高 (単位:千円) (注) 売上高には、消費税等は含まれておりません。



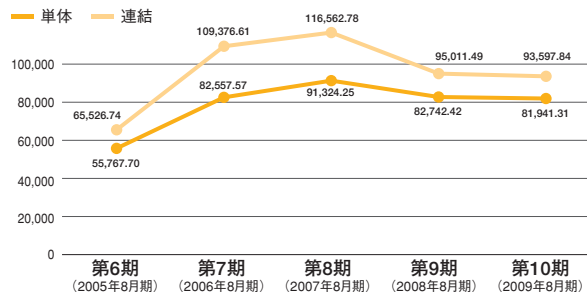
総資産・純資産 (単位:千円)



経常利益又は経常損失 (△) (単位:千円)

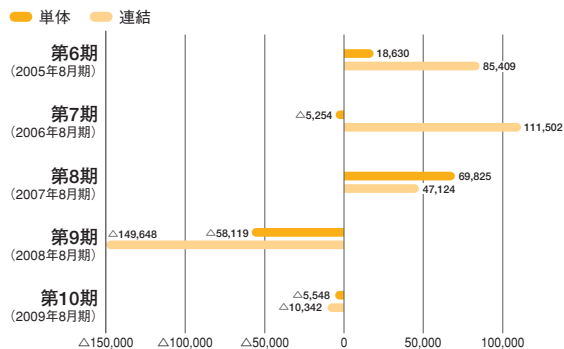


1株当たり純資産額 (単位:円)

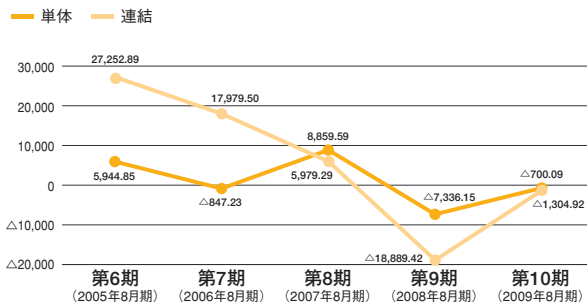


(注) 当社は、2006年2月3日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

当期純利益又は当期純損失 (△) (単位:千円)



1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△) (単位:円)



(注) 当社は、2006年2月3日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2009年8月31日現在)	前期 (2008年8月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,948,016	2,228,120
固定資産	462,980	535,322
有形固定資産	254,531	287,880
無形固定資産	54,174	58,395
投資その他の資産	154,274	189,046
資産合計	2,410,996	2,763,442
【負債の部】		
流動負債	1,148,997	1,353,258
固定負債	512,938	649,286
負債合計	1,661,936	2,002,545
【純資産の部】		
株主資本	743,764	754,106
資本金	331,122	331,122
資本剰余金	295,694	295,694
利益剰余金	116,946	127,289
評価・換算差額等	△ 1,907	△ 1,045
その他有価証券評価差額金	△ 1,907	△ 1,045
少数株主持分	7,203	7,836
純資産合計	749,060	760,897
負債・純資産合計	2,410,996	2,763,442

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (自2008年9月 1日 至2009年8月31日)	前期 (自2007年9月 1日 至2008年8月31日)
売上高	4,627,641	4,675,933
売上原価	3,284,789	3,485,383
売上総利益	1,342,852	1,190,549
販売費及び一般管理費	1,283,616	1,249,692
営業利益又は営業損失 (△)	59,235	△ 59,143
営業外収益	12,660	16,277
営業外費用	31,690	35,847
経常利益又は経常損失 (△)	40,205	△ 78,713
特別利益	34,133	—
特別損失	108,682	56,921
税金等調整前当期純損失 (△)	△ 34,343	△ 135,635
法人税、住民税及び事業税	30,787	28,170
法人税等還付税額	△ 4,252	—
法人税等調整額	△ 50,904	△ 16,964
少数株主利益	367	2,808
当期純損失 (△)	△ 10,342	△ 149,648

【連結貸借対照表コメント】

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、352,445千円減少し、2,410,996千円となりました。これは主に売上債権の回収と、有形固定資産の減価償却による減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ、340,609千円減少し、1,661,936千円となりました。これは主に仕入債務の減少128,243千円および金融機関よりの借入債務が158,642千円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、当期純損失10,342千円等を計上したことにより、前連結会計年度末と比べ、11,836千円減少し、749,060千円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	当 期	前 期
	(自2008年9月 1日 至2009年8月31日)	(自2007年9月 1日 至2008年8月31日)
1 営業活動によるキャッシュ・フロー	203,456	△ 156,561
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	162,542	△ 53,355
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 164,157	10,760
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	201,842	△ 199,156
現金及び現金同等物の期首残高	454,078	653,235
現金及び現金同等物の期末残高	655,921	454,078

【連結キャッシュ・フロー計算書コメント】

- 1 当連結会計年度の営業活動の結果、獲得した資金は、203,456千円（前連結会計年度は156,561千円の使用）となりました。これは主に売上債権の回収が仕入債務の支払を上回ったことによるものであります。
- 2 当連結会計年度の投資活動の結果、獲得した資金は、162,542千円（前連結会計年度は53,355千円の使用）となりました。これは主に子会社整理に伴う販売用不動産の処分や定期預金の払い出しによる収入が、有形・無形固定資産の取得による支出等を上回ったことによるものであります。
- 3 当連結会計年度の財務活動の結果、使用した資金は、164,157千円（前連結会計年度は10,760千円の獲得）となりました。これは主に新たな借入による収入と、既存の借入金の返済による支出による差異であります。

連結株主資本等変動計算書(要旨) (自2008年9月1日 至2009年8月31日)

(単位:千円)

科 目	株主資本				評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	331,122	295,694	127,289	754,106	△1,045	△1,045	7,836	760,897
連結会計年度中の変動額								
当期純損失			△10,342	△10,342				△10,342
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△861	△861	△632	△1,493
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△10,342	△10,342	△861	△861	△632	△11,836
当期末残高	331,122	295,694	116,946	743,764	△1,907	△1,907	7,203	749,060

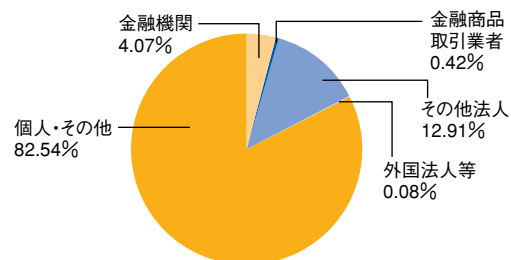
●株式の状況 (2009年8月31日現在)

発行可能株式総数	30,000株
発行済株式の総数	7,926株
株主数	741名

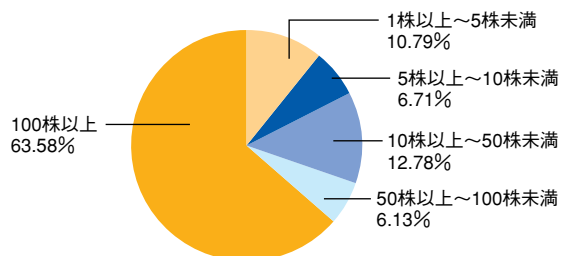
●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
前 俊守	2,500	31.54
サムシングホールディングス社員持株会	552	6.96
(株)本陣	330	4.16
(株)千葉銀行	300	3.78
前 耕蔵	210	2.64
前 トミ	205	2.58
山川 勇	155	1.95
(株)ゲオエステート	150	1.89
(有)コモリ企画	150	1.89
平野 岳史	140	1.76

●所有者別株式分布状況



●所有株数別株式分布状況



株主優待制度のご案内

当社株式への投資の魅力を高め、個人の皆様をはじめ、中長期的に当社株式を保有いただける株主様の増加を図ることを目的としております。

- ①対象株主/毎年8月31日の最終の株主名簿または実質株主名簿に記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。
- ②優待品/ご所有株式数に応じておこめ券を下記の基準により贈呈させていただきます。

贈呈基準

- ①保有株式数◎1株以上5株未満の株主様に「おこめ券 (全国共通)」2kg相当
- ②保有株式数◎5株以上の株主様に「おこめ券 (全国共通)」5kg相当
- ③贈呈時期/毎年11月(定時株主総会終了後)を予定しております。
(今回は、この株主通信等のご送付書類に同封しております。)



※写真はおこめ券1kg見本となります。

●会社概要 (2009年8月31日現在)

商 号 ● サムシングホールディングス株式会社

設立年月日 ● 2000年10月6日

本社所在地 ● 〒104-0033
東京都中央区新川1-17-24
ロフター中央ビル6F
TEL 03-5566-5555(代表)

資 本 金 ● 3億3,112万2,500円

従業員数(連結) ● 240名

役 員 ● 代表取締役社長 前 俊守
(2009年11月25日現在)

取 締 役 笠原 篤

取 締 役 青木 宏

取 締 役(*) 佐々木 隆

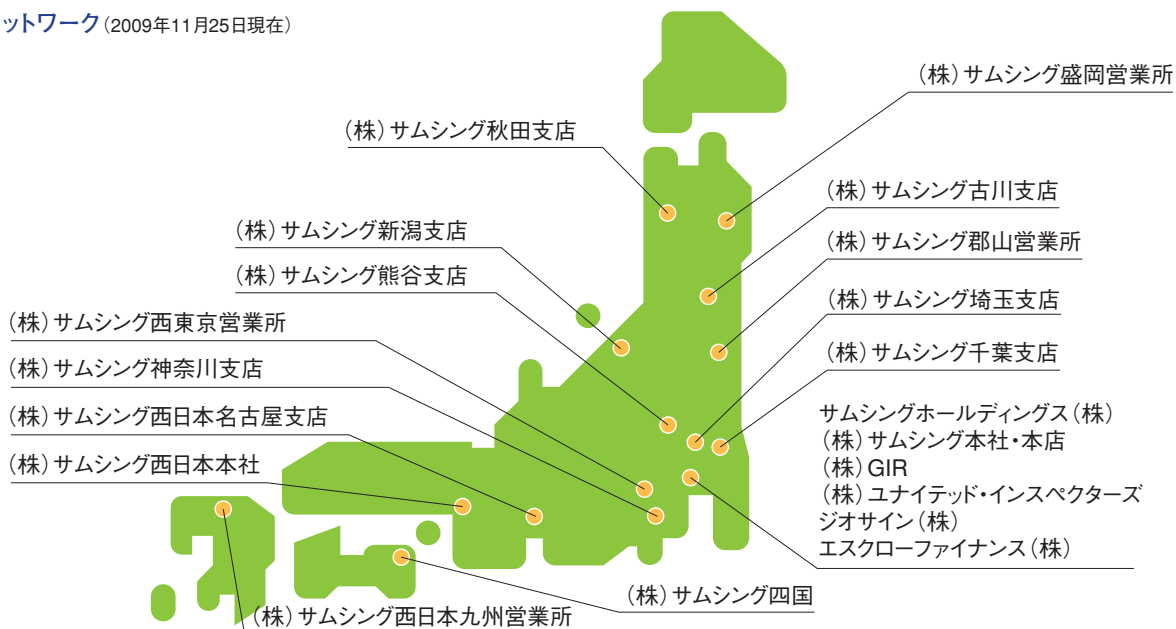
常勤監査役(*) 岡田 憲治

監 査 役 荒木 久忠

監 査 役(*) 赤司 久雄

(*)社外取締役または社外監査役

●ネットワーク (2009年11月25日現在)



■ 株主メモ ■

- 事業年度 / 9月1日から翌年8月31日まで
株主確定基準日 / 定時株主総会・期末配当金 8月31日
中間配当金 2月末日
- 定時株主総会 / 毎年11月
株主名簿管理人 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
おび特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 / 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 / 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法 / 電子公告掲載URL
<http://www.sthd.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
- 証券コード / 1408
上場金融商品取引所 / 大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット
[ヘラクレス]

■ IRサイトのご案内 ■

事業紹介をはじめ、最新IR情報は当社ホームページにてご確認いただけます。

当社ホームページ



<http://www.sthd.co.jp/index.html>

IR情報



<http://www.sthd.co.jp/ir/index.html>

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金のお支払い事務につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお取り扱いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円分)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 1408

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



*本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com